

行財政改革計画（案）への私の意見

京都市の行財政改革案では、多くの福祉関係の予算が見直しの対象となっています。

新型コロナウイルスの流行が長引くなか、子育て世帯は本当に大変な思いをしています。このような見直しを本当に今、すべきなのでしょうか？

子どもたちは生まれてくる家庭も、育つ環境も、自分たちでは選べません。今こそすべての子どもたちの育ちが格差なく保障され、等しく質の高い保育を保障・維持できるように、京都市は考えてください。

行財政改革の取組に関する意見

【年齢】（該当するものに✓を付けてください）

- 回答しない 10 歳代以下 20 歳代 30 歳代 40 歳代
 50 歳代 60 歳代 70 歳代以上

【住所】（該当するものに✓を付けてください）

- 回答しない 北区 上京区 左京区 中京区 東山区
 山科区 下京区 南区 右京区 西京区 伏見区 京都市外

「行財政改革計画」の策定に関する市民意見募集に子育て世帯の声を届けよう！

2021.6.28 京都市保育園保護者会連合協議会

市保連ニュース6月号4面にも掲載していますが、現在、京都市の行財政改革についてのパブリックコメント(市民意見)が集められています。

「本当に財政危機なの?」「市民の暮らしに直結する福祉関係の予算の削減方針が示されているけれど、他にも、見直せるところはもっとあるのでは?」「新型コロナウイルスの感染拡大により子育て世帯の多くがしんどい思いをしている今、なぜ?」など、様々な声も挙がっていますが、子どもたちの保育環境を切り下げてしまうことは、私たちの子育て環境だけではなく、未来の子育て世代にも大きな影響を与えます。子どもたちに安心して子育てできる京都市を手渡したいものです。

- ★ パブコメの回答は右のQRコードから入ったフォームで行えます。保育、子育てに関する意見は「IV行財政改革の取組」の中の「行財政改革1」の欄に入力してください。
- ★ 各園で取りまとめをされる場合は、本紙裏面をご活用ください(お手数ですが、各園で複写をお願いいたします)。コメントを記入の上、7月7日(水)までに京都保育団体連絡会(Fax:075-822-6220)へ届けていただければ、まとめて提出します。



【現在、行財政改革案で見直しが示されている子どもに関わる事業】(概要)

※ 詳細は、京都市のHPで「行財政改革計画」の策定に関する市民意見募集についてと検索するとご確認いただけます。

- ① 保育士の処遇改善等の保育所等への助成、保育士の加配
⇒見直し後の不安や心配: 保育職員が安心して働き続けることができなくなる
子どものクラスの保育士の数が減ってしまう
障害のある子どもへの加配の先生が少なくなる
- ② 保育料の軽減
⇒見直し後の不安や心配: 今より保育料が上がる
2人目の子どもの保育料が大幅に上がる
- ③ 子ども医療費助成
- ④ 学童クラブ利用料の軽減等
⇒見直し後の不安や心配: これ以上利用料が上がったら子どもを通わせられない
サービスの利用量に応じた応益負担ということは…子どもたちが毎日通う場所ではなくなる?
- ⑤ ひとり親家庭等医療費助成
- ⑥ 就学援助費
- ⑦ 中学校3年生の30人学級実施のための人件費
- ⑧ 小学生の虫歯治療の自己負担無料化 などなど

⇒市保連では①②④など、主に保育施策に関わる意見を集約して京都市に届けます。ほかにも、上記のように私たちの生活に関わるたくさんの施策の見直しが検討されています。これらについてもぜひ、京都市に声を届けてください!